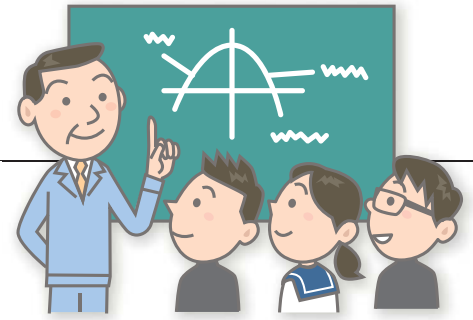


2

実践的授業

現場で活躍する技術者・技能者を講師に招聘

建設業関係者を外部講師として招き、生徒の実践的なスキルの向上、知識や技術・技能の共有・継承を図るプログラムです。学校で学ぶ知識等の現場における位置づけを理解するとともに、現場での技術・技能にも触れることから、建設業への興味や関心の高まることが期待されます。



栃木県

現場でニーズの高い技術を身につける

建築・土木・インテリア・設備・電気等の分野で、技術者・技能者の講義や実演を通じて、技術・技能を肌で感じるとともに、学校での授業内容を深く理解してもらうきっかけとなりました。

■宇都宮工業高等学校

[対象・回数] 土木科、建築科、インテリア設備科、電気科の1年～3年生／計7回

[内 容] 校舎内の側溝補修をかねて行われたアスファルト舗装実習をはじめ、情報化施工・電子納品データ処理、CAD、建築大工・壁装床材の貼付、配管、電気工事業の7授業を実施。また、アスファルト舗装実習から「土木実習テキスト」の副教材(25頁)を作成。



床工事の授業 (宇都宮工業高等学校)

■今市工業高等学校

[対象・回数] 建設工学科(土木、建築)の2、3年生／計8回

[内 容] コンクリート調合設計、鉄筋加工・型枠製作、安全教育、配電設備、電気工事など8実習を実施。コンクリート調合設計の実習では、同校OBが企業側の指導者として参画。



コンクリート練り混ぜ作業 (今市工業高等学校)

■真岡工業高等学校

[対象・回数] 土木科、建築科、電子科の2、3年生／計5回

[内 容] 足場組立解体作業、建築大工、電気安全講習など5実習を実施。講習に協力した企業との共同研究にも取組み、足場組立実習指導書を作成。



足場組立解体の授業 (真岡工業高等学校)